

幸福度に関する国内外の主な近年の動きについて

○国

- ・ 2017 年経済財政運営の基本方針 2017

「従来の経済統計を補完し、人々の幸福感・効用など社会の豊かさや生活の質（QOL）を表す指標群（ダッシュボード）の作成に向け検討を行い、政策立案への活用を目指す。」

- ・ 2019 年内閣府 「満足度・生活の質を表す指標群(ダッシュボード)」第1次報告
- ・ 2021 年2月国会予算委員会・下村委員（自民党政調会長）

「私は、GDPの拡大が重要なのは当然であります。全ての人々がウェルビーイング、幸福を実感できる社会をつくり上げることが政治の役割だと考え、・・・コロナ禍にありまして、国民の視点で幸福を高める政策をどう実現するかが重要になっています。我が国においても、本格的にウェルビーイング重視の政策形成にかじを切るべきではないでしょうか。」

- ・ 2021 年6月経済財政運営の基本方針 2021

「政府の各種の基本計画等について、Well-beingに関するKPIを設定する」

○民間

- ・ 2012 年（一財）日本総合研究所 「47 都道府県幸福度ランキング」
- ・ 2021 年3月日本経済新聞社を中心に、「日本版 Well-being Initiative」設立

○国際社会

- ・ 1947 年 WHO 憲章

「健康とは、病気でないとか、弱っていないということではなく、身体的にも、精神的にも、そして社会的にも、すべてが満たされた状態（=Well-being）であることをいう」

- ・ 2010 年ブータン 「国民総幸福量」(Gross National Happiness)
- ・ 2011 年OECD 「より良い生活指標」(Better Life Index : BLI)
- ・ 2012 年国連 「世界幸福度調査」(World Happiness Report)
- ・ 2019 年ニュージーランド ウェルビーイング指標 (LSF Dashboard) を活用し
「幸福予算」(Well-being Budget) 編成